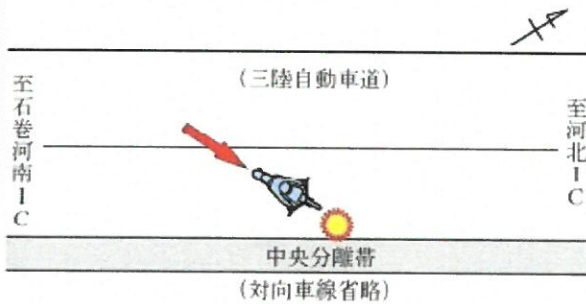


春になり二輪車の死亡事故が多発

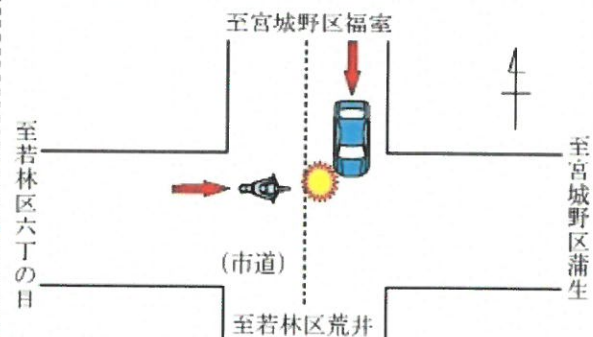
～1件は安管選任事業所から～

新型コロナウイルスの感染症拡大により、不要不急な外出の自粛が続いていますが、先月4月中に発生した7件の死亡事故のうちの3件は二輪車の事故でした。これから気温が上昇し、バイクのシーズンとなりますが、例年9月にかけてバイクの事故が多発しますので注意が必要です。大切な従業員の命を守るために、「業務外」の安全運転管理にも目を配りましょう。

- ③ 4月11日(土)午後2時45分頃、三陸自動車道上で自動二輪車(20歳代・男性)が中央分離帯に衝突したものの。



- ⑤ 4月22日(水)午後5時25分頃、市道交差点で原付自転車(40歳代・男性)が普通乗用車(50歳代・男性)と衝突したものの。



【安全運転管理のポイント】

① 出会い頭、右直事故の防止

「出会い頭事故」、「右直事故」(直進するバイクと対向車線から右折してくる四輪車との衝突事故)が多発しています。

- ・二輪車は交差点に入る際、速度を上げない
- ・対向車両の動静を見極める
- ・直進車優先の意識を持ちすぎない
- ・四輪車は二輪車が遠くに見えても接近速度が速いことを認識する

② 単独事故の防止

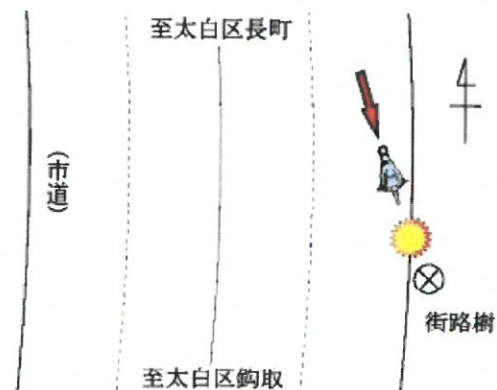
速度の出し過ぎなど自分の運転技術を過信した結果、ガードレール等の道路施設に衝突する単独事故が多発しています。

- ・路面は天候等で常に変化しています。晴天時に曲がれたカーブも路面が滑りやすくなっていると曲がりきれません。高速道路の出口誘導路から路外に放り出された事例もあります。

③ 致命傷部位の保護

頭部、胸部、腹部の受傷が致命傷になっています。ヘルメット、プロテクターの着用が基本です。

- ⑦ 4月30日(木)午前5時00分頃、市道上で原付自転車(20歳代・男性)が街路樹に衝突したものの。



コロナウイルスから命を守り、交通事故によって命を落とさない自己管理が求められています。